

情報共有を目的とした LMS(Moodle) 利用の一例

An example of usage of LMS (Moodle) for the purpose of information sharing

桑名杏奈 (Anna KUWANA)

お茶の水女子大学 教育開発センター

Moodle について

Moodle は、オープンソースの学習管理システム (LMS: Learning Management System) である。本学では、情報基盤センター(以下、ITセンター)所属の教員により「お茶の水女子大学 Moodle」としてカスタマイズ・管理・運用されている。(以下、単に Moodle といった場合は「お茶の水女子大学 Moodle」をさす。)主に講義を担当する教員に、講義資料の配布、出欠確認、小テストの実施、学生からのレポート提出などの目的で利用されている。

本稿では、30人程のスタッフ同士の情報共有を目的とした、Moodle 利用の一例を紹介する。「教育・学習の支援」という本来の目的とは異なった場面に於いても、情報の共有・蓄積・検索といった点で LMS が有効であることを示すことができれば幸甚である。

本稿で紹介する Moodle の利用背景

コンピュータ利用機会の増加

学生生活において、講義や就職活動、サークル活動、メールの利用やウェブサイト閲覧など、公私に渡りコンピュータを利用する機会は年々増加している。講義にしても、コンピュータやソフトウェアの扱いや情報倫理など、コンピュータそのものに関するものから、講義内容の理解を深めるツールの一つとして特定のソフトウェアを使うもの、レポートの作成のためにワープロソフトやプレゼンテーションソフトを利用するものなど、様々な形態でコンピュータと関わるが多くなってきた。

本学でも、コンピュータ教室に設置してある共用のデスクトップパソコンの利用に加えて、最近では、「マイパソコン」¹⁾、「貸出パソコン」²⁾、「ロッカーパソコン」³⁾などの取り組みにより、ノートパソコンの利用数も増えている。それに伴い、学内の無線 LAN アクセスポイントの整備も進んでいる。

ラーニング・コモンズについて

附属図書館1階にある「ラーニング・コモンズ(以下「LC」)」は、共用のデスクトップパソコン (Mac、Windows)、プリンタ、スキャナ、情報コンセントと電源のついた自習用の机などが設置されており、様々な形でコンピュータの利用が可能である(図書館内は全館で無線 LAN が利用可能)。図書館という利用しやすい空間内にあること、キャンパスの中心部に位置すること、朝から夜まで長時間利用可能であることなどから、研究室未配属の学士課程の学生を主として、大勢の学生が利用する場所である。

ラーニング・アドバイザーについて

LCには、利用者のサポート役として大学院生に「ラーニング・アドバイザー(以下 LA)」として常駐してもらっている。授業におけるティーチング・アシスタントと同様、学生からの質問に答えるのが主な仕事であるが、LC設置の共用デスクトップパソコンやプリンタの使い方をはじめ、様々な利用形態のノートパソコンや各種ソフトウェアの使い方など、質問内容はたいへん多岐にわたる。教職員に質問するのは敷居が高いと感じる学生も、ティーチング・アシスタント(学生達にとっては先輩)には質問がしやすいとの声もあ



Figure 1 ラーニング・コモンズとラーニング・アドバイザー

り、また、LA を務める大学院生にとっても、サポート側を経験することはキャリア教育支援の意味からも重要なことである(茂出木, 2008)。2011年2月現在、文系理系専攻問わず M1 から D3 まで 19 名の LA が在職しており、交代でその任に当たっている。

ITセンターについて

LC の共用パソコン、ロッカーパソコン、プリンタ、無線・有線 LAN 等は、ITセンターにより設置・管理されているが、少人数の教職員で大量の機器を常にきめ細かくフォローすることは難しい。そこで、LA が不調機器などの報告をしてくれることにより、素早い対応が可能となる。

情報共有を目的とした Moodle の利用

Moodle の中に専用のコースを一つ用意してもらい、LA 同士や、LA と ITセンターとの情報共有に利用している。Moodle の機能である「コース登録キー」を用意することと、「ゲストアクセス」を許可しないことで、関係者のみが閲覧できるようになっている。

具体的な利用方法

いくつかの「フォーラム」を用意し、コース登録者(LA と ITセンター教職員)から書き込みができるようになっている。大きな情報の流れとして、下記の3点が挙げられる。

LA から ITセンターへの定時報告

LA がそれぞれ勤務の終わりに「フォーラム:作業報告」へ、その日の勤務中によく受けた質問や、発見した不具合・忘れ物などを記入する。Figure 2 に作業報告の記入例を掲載する。

LA 同士の情報共有

過去の「作業報告」を読むことにより、よくある質問を把握し、スムーズな対応が可能になる。また、忘れ物などの問い合わせに対しては、発見したもの・届け先などについて過去の「作業報告」を見ることで適切な案内をすることができる。

ITセンターから LA への連絡

「フォーラム:連絡事項」を用意し、新しい機器の利用方法や、不調端末・メンテナンス予定などの情報、端末清掃など作業の依頼を書き込む。「ファイル」

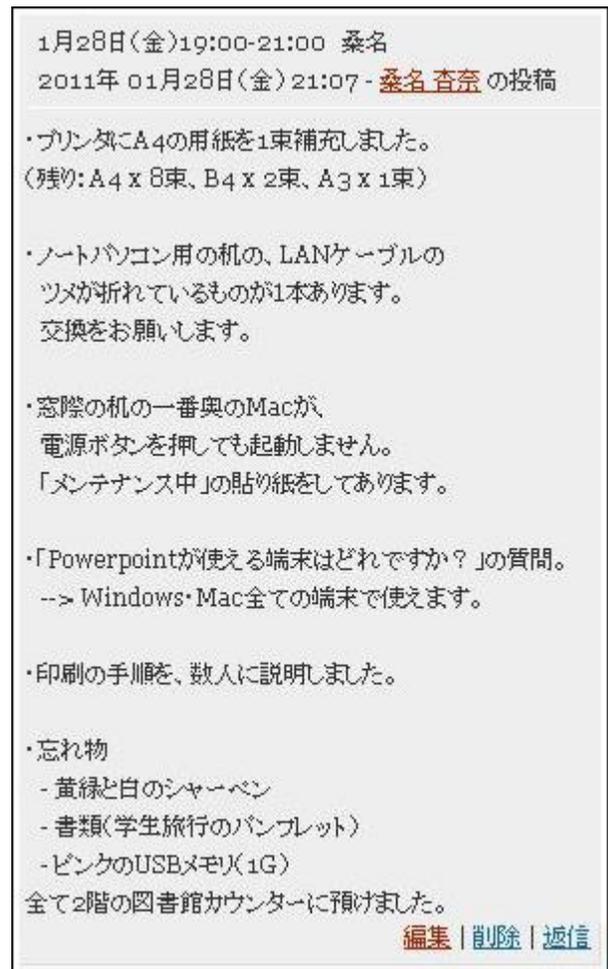


Figure 2 「作業報告」の記入例

機能を利用して PDF 形式のマニュアルをアップロードしておく、図の入った詳細な機器マニュアルも掲載可能である。「カレンダー」および「直近イベント」機能を利用することで、LA 勤務シフト表や、ウェブ履修登録期間・試験期間などの行事を表示している。

Moodle 利用のメリット

情報共有が随時行われる

LA からの定期的な状況報告により、ITセンターでは LC の様子を把握することができる。

情報の蓄積・検索が自然に行われる

作業報告の書き込みにより、LC で起こった事柄の情報が自然に蓄積されていく。過去の書き込みを読むことにより、勤務中の LA は、よくある質問や忘れ物の問い合わせなどにスムーズに対応することができる。また「フォーラムの検索」機能により、質問されたキーワードに関連する過去の書き込みを抽出するこ

ともできる。検索機能はLAからの評判もよい。

スケジュールの確認・修正・周知が容易である

LAの急な欠勤により勤務シフトに変更があっても、ウェブベースであるため、リアルタイムでシフト表の修正が可能である。Moodleは学外からでもアクセス可能であるので、例えば自宅からでも、最新のLA勤務シフト表が確認可能である。

現時点での問題点

機器のメンテナンスや入れ替えなどにより、記載済みの情報が現実と合わなくなることがある。検索によって古い機器に関する情報が抽出されたりすると、混乱を招く恐れがある。新しい情報の記載と共に古い情報を削除するよう心がけてはいるが、情報が大量になるにつれて管理が難しくなっているのが現状である。

また、新規LAを採用した際に、研修として過去の作業報告を読んでもらっているが、関係者同士でしか通じない通称や、上記の古い情報も含んでおり、新規LAの研修に最適とはいえない。新規LAが、LCのシステムについて大まかに把握できる学習ページの作成を検討中である。

注

- 1) 学部1年生に「マイパソコン」を持つことを推奨：設定されたパソコンをただ利用するのではなく、学生本人が管理者としてパソコンを持ち、各種設定を行い、活用するスキルを身につけることを目標とする。「パソコン活用室」にて開催される講習会では、マイパソコンの主体的な活用をサポートする。事情によりマイパソコンを用意できない場合は、貸与プログラムも用意している。
- 2) 学部2年生以上・大学院生向けに「貸出パソコン」を用意：パソコンを管理するための基礎的な知識を既に会得した上級生を想定。OSやウィルス対策ソフトのアップデートなどの管理は、学生自身が行う。自身で購入・フリーでダウンロードしたソフトウェアのインストールや設定の変更は自由に行える。半年単位の貸出(延長可能)。パソコンはITセンターが用意している。
- 3) 附属図書館に「ロッカーパソコン」を設置：学生証(ICカード)で自動貸出・返却のできるロッカーを用意(Figure 3)。図書館内で自由に利用ができ、帰宅時にロッカーに返却する。パソコンの設定は変更できな



Figure3a ロッカーパソコン 読み取り部に学生証をかざす

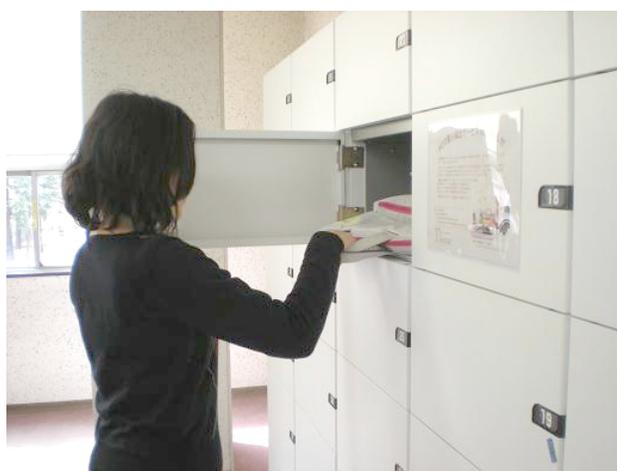


Figure3b ロッカーパソコン パソコンを借り受ける

い(管理ソフトがインストールされており、パソコンを再起動すると保存されたファイルや施した設定の変更などが全て削除されるようになっている)。パソコンはITセンターが管理している。

参考文献

- 茂出木理子(2008)「ラーニング・コモンズの可能性：魅力ある学習空間へのお茶の水女子大学のチャレンジ」『情報の科学と技術』58(2), 341-346.

参照ウェブサイト

- moodle.org 日本語版 :<http://docs.moodle.org/ja/>
 パソコン活用室 :<http://www.cf.ocha.ac.jp/panda/index.html>
 情報基盤センター :<http://www.cc.ocha.ac.jp>

2011年2月11日 受稿